

福祉新聞
WELFARE NEWS
부지신문

VOL

145

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

e-sportsが 生み出すもの

〈まねとサポートグループ

理事長 杉中 忠

運営スタッフ

日比野裕汰 さん



水沢の茶畑

四日市市最西の水沢地区に位置し鈴鹿山系のふもとに広がるお茶畑。三重県のお茶の生産量は全国3位、その中でも水沢地区は歴史、生産量ともに三重県を代表するかぶせ茶の産地。初夏は美しい緑色に染まる。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

e-sportsが生み出すもの

くまねこサポートグループ

理事長 **杉中 忠**

運営スタッフ

日比野裕汰 さん

■道のり ————— 6

動画を贈ろう 八野生活介護センター

■なかま ————— 7

ほんままい展 ~きつと空も飛べるはず~
宮の里ミタスメモリアルホーム

本間 舞 さん

■ハートフルリレー ————— 8

鍼灸マッサージについて

■春夏秋冬 ————— 9

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 17

入社式・辞令交付式

真心こめた手作り弁当 リニューアル

■きれいアートギャラリー ————— 18

■職員の休日 ————— 20

亀に恋して

きれいサポートステーション **堀部 剛**

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

長太の大楠

「長太の大楠」は鈴鹿市南長太町にあり、樹齢1千年超と伝わる県指定天然記念物のクスノキの巨木である。高さ約26m、幹の直径約2.6m。枝は四方約30mに伸びる。田園にひとときわ高くそびえる勇壮な姿は地域のシンボルとして親しまれ、根元から空が見えないほど葉が茂っていたが、2020年9月の落雷で大きなダメージを受けた。枝も葉も枯れ、樹勢が弱まったが、肥料などを使い、地質改善を行うことにより、現在は少しずつ葉も戻り始めている。

表紙写真

e-sportsが 生み出すもの



運営スタッフ
日比野裕汰さん



くまねサポートグループ
理事長 杉中 忠

今回はe・sports「Barrier Break・Cup」を運営するくまねサポートグループの理事長・杉中忠様と運営スタッフの日比野裕汰様にインタビューをさせていただきました。

※杉中様は業務都合により書面での回答をしていただきました。

Q1、福祉の仕事に就いたきっかけを教えてください。

杉中さん：27歳で離婚を経験し、五人家族から一人になりました。子どものために働いて充実していたのですが、家族がいなくなると働く意味が見いだせずいました。30歳を転機に「何か人の役に立つ仕事に就きたい」と思ったので福祉事業に転職しました。

日比野さん：僕は、高校に入学する段階で第1志望の高校が落ちまして、何となく受けた学校が福祉に関連している学校で、介護福祉士の資格を取って、そのまま老人ホームの方に就職しました。

6年間続けた結果、心機一転、障がい福祉の方にも行ってみようかなというタイミングで、ちょうど今の代表の杉中忠さんと知り合いました。そこから、違う環境でやっていけたらなというのがきっかけです。



Q2、なぜe・sportsに取り組み始めたのでしょうか？

杉中さん：共同生活援助を営む経営者仲間から「ホームの利用者さんが日中活動支援に行かずに、部屋でゲームばかりしていて、どうしたものかと悩んでいる」との相談を受けたのがきっかけです。

日比野さん：僕が入社したときには既に「Barrier Break・Cup」というのがあって、自分が参加したのが第4回大会でした。



e-sportsのために改装した会場
ができた直後のタイミングで携わらせても
らいました。

今まで福祉のことをやっていたので、
e-sportsというものが分からず、
普段はゲームをしないので、本当にゼロから
学ばせてもらいました。

こちらは大会のときに使用する場所なのですか？

日比野さん：そうですね。日頃はe-sportsの練習だったり、こういった大会の時に撮影をしています。

Q3、障害福祉の中でe-sportsに求めているものは何ですか？

杉中さん：e-sportsをきっかけに、イベントを創り上げる喜びを感じてもらって、社会参加のきっかけになってもらえたらと思います。

Q4、「Barrier Break Cup」を主催していく上で、主催側として難しさであったり課題というのがありますか？

杉中さん：ゲームは手段であって、目的ではないと感じています。オンラインで全国の利用者さん同士がつながるきっかけではあります。もつと認知されて地域の助成金やスポンサーなどが付き、利用者さんの賃金に反映できることを意識していきたいです。

また、最近はないのですが利用者さんの一人が負けて悔しくてぼろぼろと泣き出してしまったことがあります。

職員が心のケアをできる接し方について理解を深める必要性を感じました。

どうしてもスポーツの枠組みで取り組むにあたり勝敗は出てしまいます。勝敗が無ければ良いとまでは思いませんが、オリンピックのように「参加することに意味があり、取り組むことは素晴らしいことだよ」と伝えていきたいです。

日比野さん：僕は企画ですね。毎月開催をさせていただいている中で、使用するゲーム内容が同じものになって、そういった中で、少しでも楽しんでもらえる企画を考えるのは大変です。

大会の流れや構成など、すごく苦労している部分はあります。

ですけど、純粹に企画したものを利用者さんが楽しんでくれると、すごくありがたいと思います。



Q5、e-sportsに取り組み始めてから利用者さんの変化などはありましたか？

杉中さん：最初こそ勝敗に対して傷ついたりしていました。が、何度も取り組むにあたり「慣れ」も出てきて、物事はうまくいったりいかなかったりが普通の事との認識はもってもらえたかと思います。



あとは、利用者さん同士の個人個人の繋がりが深まったように感じます。

自然と人に物を教える、学び合うといった関わりが出来ました。社会参加の意図が体現できはじめていると思われれます。

日比野さん：一番大きく感じているのは、出勤率が悪かった利用者さんが、「Barrier Break・Cup」をきっかけに、出勤率が増えてきたところです。

メンタル的な部分でどうしても、出勤し辛い、家から出るのが一歩踏み出せないというような利用者さんでも、今日ゲームがあるから午後から行くのかなとか、午後から練習の時間を週3回設けているので午前中はむずかしいけど、午後から行ってみようかな。となつて、利用者さんの出勤が、週に1回から2回、3回となり、週4回で丸一日出勤してくれたりとかもするので、利用者さんの変化はすごく嬉しく思います。

「Barrier Break・Cup」大会のときも積極的に参加してくれて、今までは本当に人前で話したりするのがすごく苦手だった利用者さんでも積極的にMC席に座って話をしてみたり、もっとこういうことをしてみたいという、自発的な部分が、見られてきたのが本当にすごく嬉しく思います。

Q6、裏方として作業してる方もいらっしゃるんですか？

日比野さん：YouTubeで編集された動画は、ほぼすべて利用者さんが行っています。動画に関しては頼りっきりで、利用者さんありきなのですが、それが逆にいいことなのかなと思います。

利用者さんの働く環境は、好きかどうかわからないですけど、自分なりに勉強して工夫して、どんどん編集スキルが上がっていくのですごく嬉しいです。



Q7、ホームページを見ると「ゲームを仕事にしませんか」というフレーズが大きく載っています。大会がないときにゲーム関係の仕事をしているのでしょうか？

日比野さん：在宅での仕事でe-sportsを絡めて、Twitterでの広報活動や動画編集を行っていたとき、残りの時間ゲームの練習に充ててもらっています。

Twitterに登場する「ゆいゆい」さんは利用者さんですか？

日比野さん：そうですね。実際在宅で絵を描いてもらって「Barrier Break Cup」のキャラクターとか、ぶよぶよイラストライターのときだったりとか、キャラクターを書いていただいて、それを素材にしてYouTubeで配信をしています。

最初は探り探りで、ある程度パソコンを触るってことが好きで入ってくださった利用者さんで、何となくの理解はあったと思うんですけども、そこからの技術は自分で調べられて勉強されているようです。

ちょうどコロナ禍で編集してくれている利用者さんが長期間休みになった時、「誰かがやらなくては」となって、私も編集を覚えようと思ひ、連絡を取り合っていました。

メモがあると言われて確認したら、自分で考えて書いたものがびっしり書いてあり

ました。すごくわかりやすい！と思ったんですけど、結局うまくできなかった。細かく書いてあっても、本人でないと難しいというのを身をもって体験しました。

Q8、e-sports事業でやっていく中で印象に残っていることは何ですか？

杉中さん：いい意味で精神的に強くなっていく様子を見るのは喜びがあります。相手を認め合えるようになる様をみると、みんなの方が大人だなと感じます。



全国にとどまらず、外国の方ともゲームを通して交流ができたことにより、利用者さん達にも広い世界観を感じる機会を作れたのではないかと思います。

日比野さん：利用者さんの気持ちの部分で向上しているところが見られると、やっていて良かったと思います。

メディアで活躍されている方々と、お仕事をさせていただく機会が増える中で、知らなかった事を学び、自分の成長にも繋がっている、ありがたいなと思っています。

Q9、今後の「Barrier Break Cup」の展望や目標はありますか？

杉中さん：各都道府県に参加事業所が増え、その地域ごとに「NPO法人バリアプレイク〇〇(地域)」などが生まれ、県ごとに助成金を貰い、地域のPRができる財源を確保して賃金に還元できたらと思います。

また、SNSの運用・活用方法を学び就職した企業をPRする広報としての役割を持たせて貰える「e-sportsがきっかけで就職し、広報を担う障がい者インフルエンサー」の実績を作れたらうれしいです。

なにより本人たちがありのまま無理せず、に社会に参加できる一助になれば嬉しいです。



日比野さん…近々、オリンピック種目に e-sports が取り決められ、この e-sports 自体がどんどん盛り上がって行く中で、障がい者スポーツの第一人者として、先陣をきっていけるような、規模の大きなものにできればと思っています。

あとは、利用者さんたちが、大きな会社でも障がい者雇用枠がある中で、一般就労に向けて「Barrier Break Cup」を活用していただき、マルチな部分で「Barrier Break Cup」が広まり、社会に貢献できればと思います。

Q10、現時点では「ストリートファイター」と「ぷよぷよ」というゲームで参加していますけど、今後ゲームのジャンルを増やしていく予定はありますか？

日比野さん…オリンピック種目にいくつか挙げられているものをゆくゆくは取り入れて、少しずつ利用者さんたちが飽きないように種目を増やしたいと考えています。

Q11、現在参加されている皆さんに一言何かありましたらお願いします。

日比野さん…忙しい中、いつも参加してくださってありがとうございます。

「Barrier Break Cup」は今後、どんどん大きくなっていくので、ついてきてくだされば損はないかなとは思いますが、宜しくお願い致します。

杉中さん…e-sports をきっかけに全国に友だちを作ろう！
みんな応援してるよ！

本日はお忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございました。



2019年末からコロナが猛威を振るい、外出・面会等制限がされた。そんな中、少しでも施設の中での様子をご家族に知ってもらうにはどうしたらよいかを検討。2021年、新たな企画を考え、数名に対し、日常や行事での様子などを伝える写真をスライドにまとめ、ご家族にプレゼントし、好評であった。

2022年はバージョンアップし、動画を撮りまとめ、より施設での様子を知っていただけるように改良。行事、リハビリ、食事等の様子など、前回のアンケートでご家族の「知りたい」に沿った内容となり、10名のご家族に送ることができた。今年度は5月より5類になり、緩和されたが、この企画は継続し、ご本人のがんばりや楽しみをご家族と共有したいと考えている。



活動も撮影



動画・写真の撮影



ご希望の方お待ちしております



動画の編集



ほんままい展 くきつと空も飛べるはず

2月28日(火)～3月5日(日)に桑名市にあるギャラリー寺町で舞さんの個展が行われ花や動物をテーマとした無秩序な線を生かして描いた油彩画、色鉛筆画約20点を展示された。個人の個展は初めてとの事で来所された時に嬉しそうに色々な職員に喜びを伝えられていた。

平日は他の事業所で創作活動に取り組み、宮の里には土曜日に来所される。いつも絵を描いた事や、嬉しかった事などたくさんお話をしてくれる。宮の里では昼食後などの時間に真剣な様子で色鉛筆やクレヨンで絵を描かれている。鳥や花を描かれる事が多いが時々職員の事も嬉しそうに描いてくれる。

個展に行かせていただいた時残念ながら舞さんには会えなかったが、とても素敵な空間にお邪魔させていただく事が出来た。

今後も舞さんの活躍を応援していきたいと思う。



宮の里での昼食後



雑貨等



作品



宮の里ミタスメモリアルホーム
本間 舞さん



鍼灸マッサージについて

4月より、リハビリ+訪問鍼灸マッサージこころ鈴鹿亀山治療院による健康ツボ押し体操が始まった。鍼灸師の先生と利用者さんが、一緒に体のツボを刺激することで血流促進効果をUPさせながら、体操し効率のよい運動を提供する内容である。本日は手を使って足をさする体操、2種類のツボ押し整理体操と誰でも取り入れられるプログラムだった。ツボの場所はシールを貼り、解りやすくツボ押しの強さは指を押し当てる程度の強さで効果があるとの事だった。初めての活動で緊張や戸惑いもあったが先生方の motto 「こころ」と「からだ」に寄り添い皆を笑顔に…言葉通り元気と笑顔あふれる体操教室になった。



体操の始まり



前で見本となっています



ツボを教えてもらってる



リハビリ+訪問鍼灸マッサージこころの皆さん

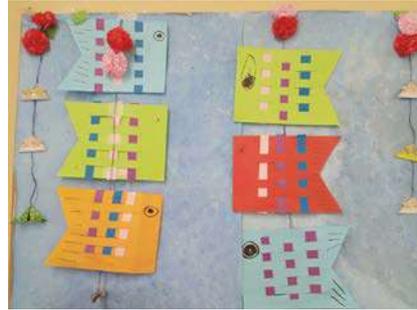
八野生活介護センター

創作活動

2種類の壁画製作を創作活動にて行った。ハサミが使える人、絵の具が使える人、折り紙が折れる人、ペーパーフラワーが作れる人などそれぞれの作業を分担し完成。製作途中は何がどうなるのかと謎解きになっていたが、完成するとそれぞれ「端午の節句」、「母の日」ときれいな壁画が完成した。完成した壁画は2回に分けてテイルームのボードにて展示している。



作成中



鯉のぼり



母の日作品



先生と一緒に



広げて～



上にあげて



歌いましょう

リトミック

5月3日(水)、音楽療法士の和田さんと呼んで、リトミックを行った。

最初に先生から説明をしてもらってから、音楽に合わせて楽器を持って一緒に歌ったり、布を両手で持って体を捻る等の体操を行う。はじめてだったが、皆さん他の活動で音楽や体操をしている為、楽しくうにしていた。

終わってからは「楽しかった。来月も来てくれるから楽しみ」と喜んでくれた。これからも利用者さんに楽しんでいただける活動を提供していく。

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

こいのぼりの下で

子どもの日イベント、一日早い5月4日(木)に、文字通り新緑輝く亀山市下庄の農村公園に出かけた。爽やかな青空にたくさんさんのこいのぼりが元気に泳いでいる！見ているだけで元気になれるようだ。その下で遊ぶ利用者さん達の気持ちもこいのぼりと一緒に空高く舞っているかのようにのびやかにみえた。初夏とも思える陽気の中で笑顔につつまれた今年のGWの一日だった。



慎重に一歩ずつ！



光の中で風にはためく
こいのぼり達が迎えてくれました



こいのぼりの
下の散歩



こいのぼりと
まったりタイム



カッコイイこいのぼりに
囲まれて笑顔

雨上がりの初夏とも感じる5月の土曜日、アスレチックに出かけた。利用者さん達のリクエストにあがる人気活動だ。到着して遊びのルールを職員から聞くと、我先に遊具に挑んでいく。池のほとりで休憩すれば鯉や亀に癒された。その後はウォーキングして移動、鉄棒やサッカーに興じた。運動が得意でも苦手でも構わない、とにかくみんな元気だ！汗と笑い声が青空にキラキラと輝いていた。



登る！こえる！



みどりの中をウォーキング



思わずフルスイング！



鯉と亀が、会いに来てくれたよ



またぐ！くぐる！

青少年の森でアスレチック

放課後等デイサービスURAURA稲生

八野就労支援センター



今年は例年よりも早めの開花でした！



満開の桜の下で満面の笑顔！

毎年八野では、施設前の坂の脇に染井吉野の桜が立派に咲く姿は桜花爛漫。
介護センターの下には、枝垂れ桜、メジロが桜に止まりその姿は春の訪れを感じる季節になり、坂の下から出勤してくる利用者はしばしの間、桜並木を楽しんでいる。
また、3月には就労行事も外出が出来るようになり、隣にある深谷公園へ散歩に出掛けたり、近くの御園団地へ河津桜を見に行った。利用者さんも、3年ぶりくらいの外出にとても素敵な笑顔を見せてくれた。今年は沢山の外出の行事を職員共々楽しみにしている。

早咲きの桜を満喫



いい香りがしますね～！



ハイ！私が答えます！



最後にみんなで記念撮影！



こうやってお茶が出来るのか～！

四日市お茶センター見学

4月になり、施設外の行事、四日市のお茶センターへ。お天気も良くて移動中の車からは桜が見えたり50分程のドライブに職員と色んな話題で盛り上がった。

お茶センターでは、実際にお茶を各自、茶器を使ってお茶を入れ試飲をした、普段温度などに気をせず入れているけれど、茶葉には適温があるのも利用者には伝わって自分で入れたお茶に「苦い、美味い」などの声があった。またお茶が出来るまでの工程や、実際の機械などを見てお茶センターを後にした。施設外のお出かけは、仕事の建屋が違う仲間とのふれあいであったり、リフレッシュの場になっという。

きれいサポートステーション

「劇団ゆめふうせん」演劇披露

3月27日(月)、ニチイケアセンター鈴鹿にて、劇団ゆめふうせん「アラジン」を披露した。演目「アラジン」は、2年間練習を続けてきたが、コロナ禍で発表の機会が無くなり、施設外での発表は久しぶりだった。

始めは緊張していたが、ニチイの利用者さんと職員さん達の温かい拍手や「頑張って」という言葉に励まされ、笑顔で演舞することができた。終了後は、ニチイの利用者さん達からの「良かったーありがとー」の声飛び交い、手作りの記念品もいただき、楽しい時間を過ごすことができた。

令和5年度の演目は利用者さん達の希望で「となりもトトロ」に決まった。沢山の方々に元気いっぱい披露できるように、頑張って練習していく予定だ。



発表がんばるぞ～



どうもありがとう



記念品

地域の海岸クリーン大作戦



千代崎海岸にて



細かいのも拾いましょう



こんなに大きいのも！！



海辺を歩きながら

初夏の始まりを感じさせるさわやかな天気の中、利用者さん10名と職員2名で千代崎海岸のゴミ拾いを行った。
予想以上にゴミが多く、空き缶、ペットボトル、弁当の容器など、様々なゴミを拾った。海に捨てられたゴミが環境に悪影響を起していることに、胸を痛める利用者さんもいた。
私たちの力は小さいかもしれない。だけど小さなことからコツコツと重ねておこなっていくことで、身近な海岸の景色をきれいな心で見れるように、今後も海岸清掃は続けていきたい。

南勢就労支援センター

あまてらマルシェ

昨年度より交流させていただいている株式会社「ゴリキさま」より誘いをいただき参加。1週間前より、てるてる坊主を作る利用者さんもみえるほど、みなさんの気持ちは盛り上がっていた。当日、雨が降り出し、心配する声が上がっていたが、決行！出発する1時間前から準備、バスに乗り込もうとされる方もみえ、楽しみは最高潮だった。雨天の中での皆さんは満面の笑みで楽しまれていた。ゴリキのスタッフさんとのふれあい、地域の皆さんとの関わりなど交流の大切さを感じた。



手作りクッキーを購入！



自家製いちごオレ、美味しかったよ！



ホールでも足開き運動



足開き運動、職員と一緒に

歩行分析Aーアプリ トルト

歩行分析Aーアプリ「トルト」を使用した取り組み。歩行の動画撮影後2分程で歩行状態と改善点を個別に点数化されコメントを出すアプリ。初めての撮影時はみんな緊張した様子があり、ぎこちない歩き方で撮影されていたが、月1回の撮影、5月以降少し慣れた様子で、撮影に参加されている。個別に出てくる改善点、トレーニング方法を日中活動に取り入れ、怪我の防止等に努めている。

歩行分析結果



第2南勢就労支援センター

Barrier Break・Cup参戦

5月17日(水)、第2南勢から選ばれし2名が愛知県名古屋へ市へいざ、出陣。

目的はe-sports大会Barrier Break・Cupへの参加だ。

毎月全国の障がい者施設がオンライン上で集まり、ストリートファイターやぶよぶよで対戦し、その様子はYouTubeで生配信される。

今回第2南勢はチーム「MAKASETAKU」としてオンライン出場ではなく大会本部から出場させていただく。「KENT」選手と「マリオネット」選手二人とも朝から緊張した面持ちで一路名古屋へ、到着すると本部の設備に驚きを隠せない様子だった。

12時30分大会スタート。自分たちの出番を待っている間に、スタッフの方のご厚意で解説席に座らせていただいた。二人ともMCの方と見事に解説を勤め上げた。

そしていよいよ対戦の時。熱いプレイで会場を味方につけ、時には笑いも起こりながら二人とも全力を出し切った。全力で打ち込む彼らの姿に同行した職員の間にはつつすらと涙も…

オンラインでは感じる事ができない熱気・興奮がそこにはあった。

他施設との交流も含め、今回の経験は二人をより大きく育てるものになったに違いない。



マリオネット選手解説席へ



勝利のゲータッチ！



熱戦が続く…



MC・解説の方と一緒に閉会式



最高の思い出に



KENT 選手 MIP 賞受賞！

宮の里ミタスメモリアルホーム

外出支援

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、少しずつ外出の機会を設けている。

5月には外食やショッピング外出が行われたが、移動の車中も話はずみ又、現地での様子を見ていると改めて大切な機会である事を認識した。
これからも感染対策を行い利用者さんの希望を実現していく。



ビール買おうかな



一緒に鍛えますか?



どれにしようかな



美味しそう



旨い



メガドンキで記念写真

日中活動で5月は母の日、6月は父の日のプレゼント作りをみんなで行った。
職員と協力して家族の話をしながら日ごろの感謝を込めて作った結果、可愛いプレゼントが出来上がった。
母の日はたくさんシールを貼ったしおりと、父の日はサプライズで父母に向けて写真が入ったおそろいのキーホルダーをプレゼントできた。



楽しそうにシール選んでいます



出来あがったしおり



出来上がったキーホルダー



一生懸命貼ってくれています

いつもありがとうございます

二見生活介護支援センター潮音

お花見

潮音の利用者さんは曜日によって異なることが多く、職員からもせっかくの桜を全ての利用者さんに見てもらいたいとの声があり、3月27日(月)から4月1日(出)の6日間、伊勢トピアへお花見に出かけた。遊歩道沿いに植えられた満開の桜を見たり、時には桜に触れたりして、また遊歩道を散歩してお花見を堪能していた。

久しぶりの外出で、また天候にも恵まれて施設の中では味わえない春らしい空気と満開の桜を楽しめた一週間であった。利用者さんからは「また外出したい。」という声が多数聞くことができた。



桜と一緒に仲良く2人で!



かわいいね!



桜の下で全員集合!

お母さんありがとう

5月14日の母の日を迎えるにあたり、5月の創作活動のテーマは「母の日」として、日頃お世話になっている方へのメッセージカードを作成した。

カーネーションに見立てた色違いの造花を利用者さんそれぞれで選び、手形で花を持ったように見立て、「お母さん、ありがとう」等の感謝の気持ちを書き、シールなどでデコレーションして各々個性の出たメッセージカードとなった。また、お渡ししたメッセージカードはご家族様からも好評であった。(一部の作品をきれいアートギャラリーにて掲載します。)



お母さん喜んでくれるかなあ



お花を選んで…



お母さんいつもありがとう♡

入社式・辞令交付式

4月3日(月)、亀鈴会法人本部・宮の里にてZOOMを使用し入社式・辞令交付式が行われた。理事長より法人理念、中長期ビジョンなどのお話をいただいた。入社式終了後はコロナでの行動制限が緩和されたこともあり、3年ぶりに北勢・南勢の新入社員が伊勢に集まり会食・同じテーブルに座った同士が親交を深めた。会食後は伊勢神宮内宮を参拝し、また神楽奉納を拝見した。その後、二見生活介護支援センター潮音を見学し、それぞれの施設へ帰途に就いた。

新入社員の皆さん、これから力を合わせて伊勢亀鈴会を盛り上げていきますように。



入社式の様子(北勢)



入社式の様子(南勢)



伊勢神宮内宮にて記念撮影

丁度いいお手頃サイズ

おにぎり BOX Sサイズ

350円



しっかり満足サイズ

おにぎり BOX Mサイズ

400円



4月1日(土)より、福祉の森の家・おにぎり屋のおにぎり弁当パッケージデザインを一新した。以前まで「健康で体にいい」をセールスポイントとし、竹の皮の模様のデザインを長年続けていたが、今回は明るくポップな色のデザインになっている。デザインは変わっても、栄養バランスを考えた体にいいお弁当作りは変わらず、お客様のもとに、出来立ての真心がこもったお弁当をお届けしたいと考えている。

真心こめた手作り弁当 リニューアル

3年ぶりに
開催決定!

第25回

福祉の杜まつり

10月22日(日)

場所/南勢・宮の里

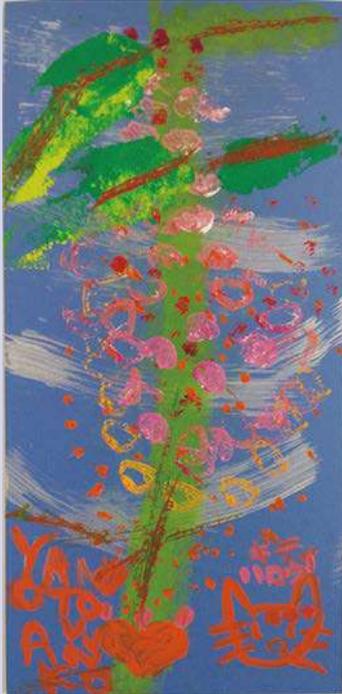
第31回

福祉の森まつり

11月5日(日)

場所/深谷公園

枝垂れ桜



山本 愛子

魚



キラキラ光る貝



藤原 利子

父の日のプレゼント



きらきらの皆さん

創作活動



きらきらの皆さん

ロジッククロック



岡田 優里菜



八野生活介護センター

八野就労支援センター

きれいサポートステーション

きれいなアートギャラリーでは利用者さんの作った物、書いた物など作品を紹介していきます。
第2回も各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。

「竹」



郭 大亜



藤村 悦美



西田 隼人



山本 雄介

第2南勢就労支援センター

オリジナル主人公とチリちゃん
(ポケモンより)



山口 美幸

オリジナルキャラクター
九尾と鬼のハーフの子



山口 美幸

宮の里ミタスメモリアルホーム

あじさいのポストカード



潮田 美奈子

一見生活介護支援センター潮音

フィンガーペイント



八田 浩之

ひまわり



大谷 恵理

お母さんへのメッセージカード



堤 快斗

職員の休日

OLIDAY

亀に恋して

きれいなサポートステーション

堀部

剛

私は入社してからまかせ太君一筋で働き、今年の5月で5年が経ちました。日々暑い現場を利用者さんと一緒に頑張るのは、大好きな亀たちがいるおかげです。

私の夢は「亀の動物園」を作ることです。休日は朝から川に行き、亀を捕まえて家に持ち帰っています。種類や大きさ、欠損個体などに分別して、水槽の水を換えた後にビールを飲むのが私の趣味です。私は亀に恋をしているのです。

そして昨年5月に朝日放送テレビの「探偵ナイトスクープ」に出演することが出来ました。私の飼っている亀たちの素晴らしさを全国に届けることができ、本当に嬉しく、また一生忘れることのない幸せな日を送ることが出来ました。今では我が家の亀たちも350匹を超えています。日を追うごとに亀を飼うペースがなくなってきました。今後は仕事とプライベートを両立して亀たちと一緒に過ごしていきたいです。



仲間がいっぱい



亀文字！！



こっちを見てる！



目が可愛い



オンザフルーツ



サポートをこよなく愛する男

八野生活介護センター

八野就労支援センター

きれいサポートステーション



村部 貴子



松居 恭子



川野 幸則



吉田 佳子

南勢就労支援センター

第2南勢就労支援センター

二見生活介護支援センター潮音



北村 美里



糸川 知成



山本 和美
(看護師)



木村 元重
(運転手)

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

第2南勢就労支援センター山田です。145号の編集長を務めさせていただきました。また、巻頭インタビューの記事にも携わらせて頂きました。一つ一つの記事に編集委員一人一人の思いが込められた一冊になっております。伊勢亀鈴会への興味への入り口になって頂けたら幸いです。自身2度目の編集長でしたが、作成にあたり多くの方のご協力のもと、何とかやり遂げることが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

2023.3.1~2023.5.31

伊勢亀鈴会

堀田 寿子 様 八野就労支援センター保護者様

福祉葬祭三重

真宗高田派 真善寺 様

真宗高田派 円光寺 様

真宗高田派 法林寺 様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881

宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:加藤 TEL0596-58-5030

二見生活介護支援センター潮音 担当:中西 TEL0596-72-8822

きれい通信 **ちょっと寄り道!!**

伊勢の食 ふれあいパーク多気
ごかつら池

ふるさと村



4月26日(水)にリニューアルオープンをした「ごかつら池 ふるさと村」。南勢では毎年BBQで利用させていただいている。

ふるさと食堂が「マルシェグランマキッチン」(11:00~16:00 火曜休業)となり、内装も明るい店舗になった。三重県立相可高校の生徒による「高校生レストラン まごの店」(土・日・祝のみ)も人気だ。「マルシェグランマ デリ」(11:00~16:00 火曜休業)では地元の酪農、農産物によるフード・スイーツが販売されている。第2南勢のわくわくジャムも販売している。

そのほか「みかん狩り」「トマト狩り」「ロッジ」「キャンプ」など色々楽しめる施設である。

また「どうぶつパーク(花と動物ふれあい広場)」は2023年4月で30年となり、施設の老朽化、動物の高齢化などがあり、4月より1年間の休園が決定している。動物園は2024年春に、「人と動物の共生、生き物の多様性を学べる場」をコンセプトに、いのちの大切さ、生物の多様性、人と動物との共生を学べる施設としてリニューアルすること。皆さまも機会があればぜひ立ち寄りてみてほしい。



アクセス: 〒519-2174 多気郡多気町五桂956 TEL 0598-67-6196 FAX 0598-67-9872

指定就労継続支援B型事業所

印刷

八野就労支援センター
きれい印刷工場

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
 ☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
 〒513-0837 鈴鹿市八野町228番地の1
 TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
 e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA福生
 〒510-0205 鈴鹿市福生4丁目19-6
 TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
 〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
 TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
 e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体にいいおにぎり屋
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(5つがてら)
 〒513-0207 鈴鹿市福生塩屋2丁目1番5号
 TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
 (第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
 TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
 (第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
 TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいどのもり)
 〒515-0354 多気郡明和町行部131
 TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
 TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
 TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
 TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
 e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所
宮の里ライフステーション
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
 〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
 TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
 指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古宇鉄砲塚728番地の18
 TEL0596-58-0114(代) FAX0596-58-6742
 e-mail nansai2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音(しおね)
 〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
 (二見生活介護支援センター潮音内)
 TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
 e-mail obentoya-shiome@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
 〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
 TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
 e-mail nansai2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
 TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
 TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
 〒514-0014 津市港町18-12
 TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
 〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
 TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
 〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畦3917-272
 TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
 TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451